

# SPA100シリーズアダプタの特徴的なリングパターン

## 目的

この記事では、SPA 100シリーズアナログ電話アダプタの地域音声パラメータでリングパターンを設定する方法について説明します。固有呼び出し音は、特定の呼び出し音が選択されたときに電話機が行う音を決定します。この設定は、さまざまな数の呼出音パターンをカスタマイズするのに役立ち、呼出音の周期を調整するのに役立ちます。

## 該当するデバイス

- SPA112
- SPA122

## [Software Version]

- 1.3.2-XU(014)

## 特徴的なリングパターン

ステップ1：電話設定ユーティリティにログインし、[Voice] > [User 1]または[User 2]を選択します。[User 1]ページが開きます。

User 1	
Message Waiting:	no
Media Loopback Mode:	source
Accept Media Loopback Request:	automatic
Media Loopback Type:	media
<b>Distinctive Ring Settings</b>	
Ring1 Caller:	60(2/4)
Ring2 Caller:	60(.8/.4,.8/4)
Ring3 Caller:	60(.4/.2,.4/.2,.8/4)
Ring4 Caller:	60(.3/.2,1/2,.3/4)
Ring5 Caller:	1(.5/.5)
Ring6 Caller:	60(.2/.4,.2/.4,.2/4)
Ring7 Caller:	60(.4/.2,.4/.2,.4/4)
Ring8 Caller:	60(0.25/9.75)
<b>Ring Settings</b>	
Default Ring:	1
Hold Reminder Ring:	8
Cfw Ring Splash Len:	0
VMWI Ring Policy:	New VM Available
Ring On No New VM:	no
Default CWT:	1
Call Back Ring:	7
Cblk Ring Splash Len:	0
VMWI Ring Splash Len:	0
Submit Cancel Refresh	

注：ユーザ1に設定される独自のリングパターンは、ユーザ2に設定される設定と似ていません。

ステップ2:[Ring1 Cadence]フィールドの値を入力します。これは固有呼び出し音1のキャデンススクリプトです。デフォルトは60(2/4)です。

ステップ3:[Ring2 Cadence]フィールドに値を入力します。これは固有呼び出し音2のキャデンススクリプトです。デフォルトは60(.8/.4,.8/4)です。

ステップ4:[Ring3 Cadence]フィールドに値を入力します。これは固有呼び出し音3のキャデンススクリプトです。デフォルトは60(.4/.2,.4/.2,.8/4)です。

ステップ5:[Ring4 Cadence]フィールドに値を入力します。これは固有呼び出し音4のキャデンススクリプトです。デフォルトは60(.3/.2,1/.2,.3/4)です。

ステップ6:[Ring5 Cadence]フィールドに値を入力します。これは、固有呼び出し音5のキャデンススクリプトです。デフォルトは1(.5/.5)です。

ステップ7:[Ring6 Cadence]フィールドに値を入力します。これは固有呼び出し音6のキャデンススクリプトです。デフォルトは60(.2/.4,.2/.4,.2/4)です。

ステップ8:[Ring7 Cadence]フィールドに値を入力します。これは固有呼び出し音7のキャデンススクリプトです。デフォルトは60(.4/.2,.4/.2,.4/4)です。

ステップ9:[Ring8 Cadence]フィールドに値を入力します。これは固有呼び出し音8のキャデンススクリプトです。デフォルトは60(0.25/9.75)です。

ステップ10:[送信]をクリックして、変更を保存します。